

## Ⅱ 人 口

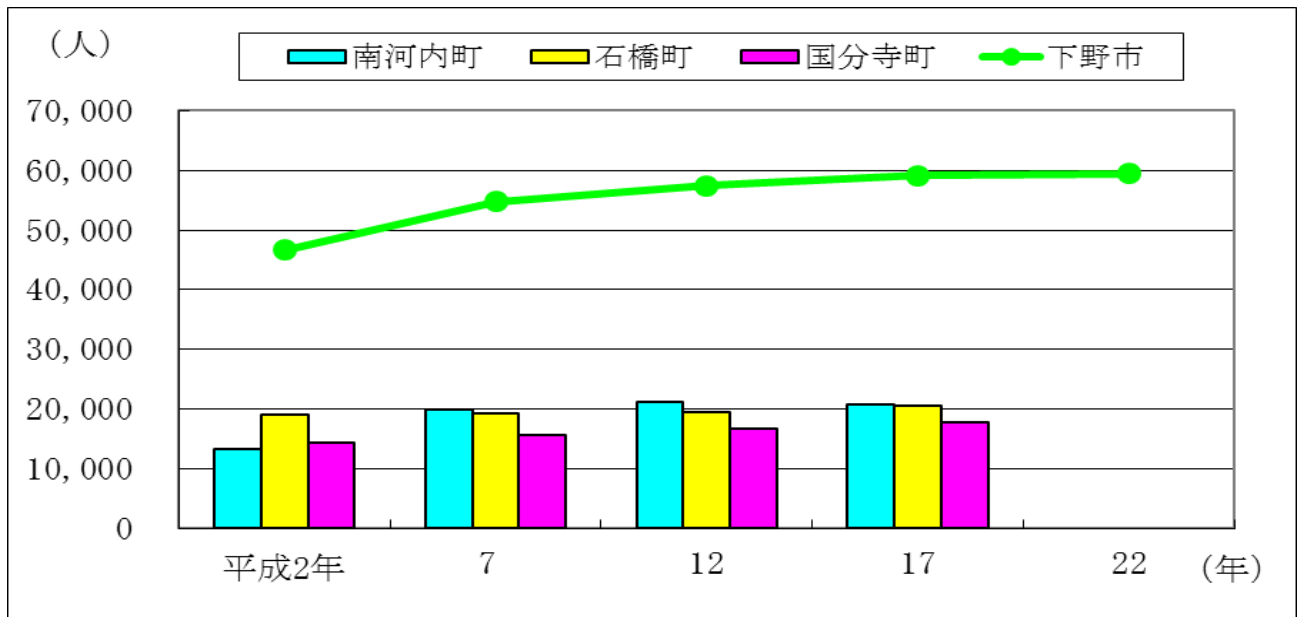
### (1) 人口

下野市の国勢調査人口推移をみると、平成2年（46,673人）から平成22年[59,464人（速報値）]までに12,791人増加している。

#### 人口推移

単位：人

旧町別	平成2年	7	12	17	22
南河内町	13,224	19,844	21,235	20,873	—
石橋町	19,039	19,174	19,498	20,494	—
国分寺町	14,410	15,691	16,714	17,765	—
下野市	46,673	54,709	57,447	59,132	59,464 (速報値)



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

#### 人口

単位：人

	平成18年	19	20	21	22
下野市	59,205	59,349	59,488	59,392	59,311

資料：栃木県毎月推計人口調査（各年10月1日現在）

## (2) 人口構成

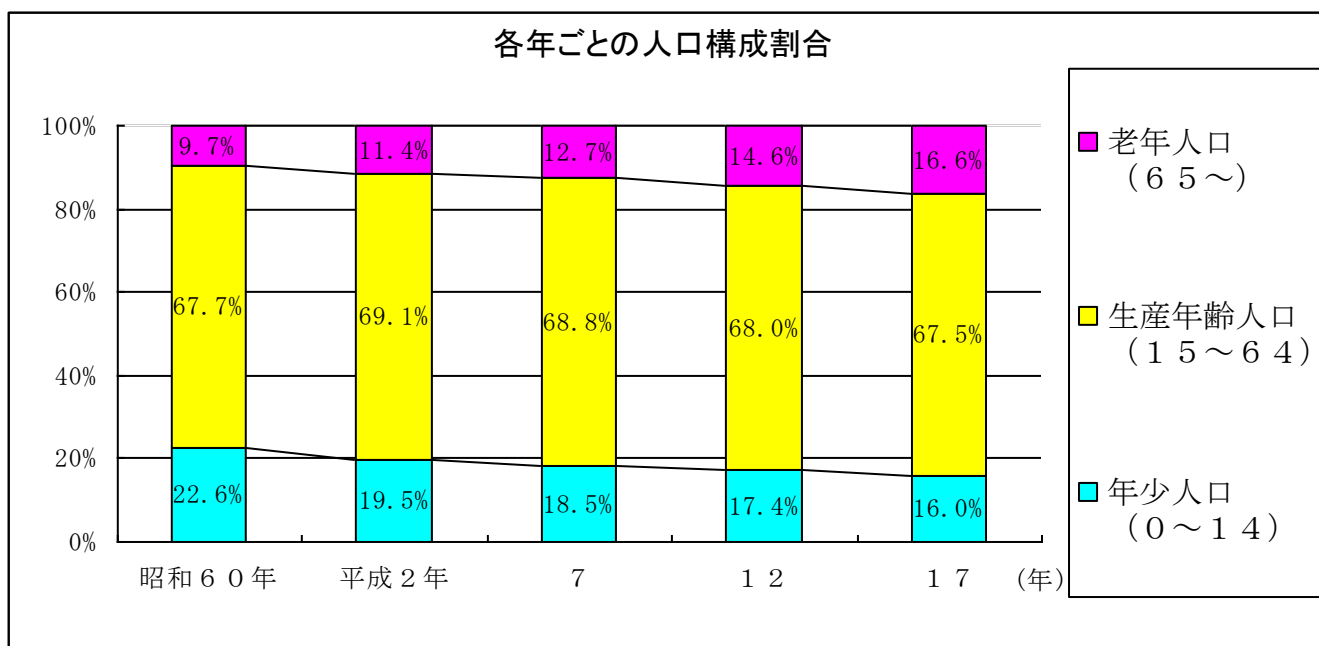
下野市の人口構成の推移をみると、昭和60年から平成17年までに年少人口は714人減少、生産年齢人口は9,463人増加、65才以上の老年人口は5,426人増加している。

### 人口構成

単位：人

区分	昭和60年	平成2年	7	12	17
年少人口 (0～14)	10,140	9,089	10,119	9,993	9,426
生産年齢人口 (15～64)	30,406	32,262	37,654	39,057	39,869
老年人口 (65～)	4,364	5,313	6,934	8,376	9,790

### 各年ごとの人口構成割合



※3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

### 解説

国勢調査・・・我が国に常住するすべての人を対象として、5年ごと（10月1日現在）に行われる調査で、男女の別、出生の年月、配偶関係、国籍、労働力状態、従業上の地位、産業、職業、世帯の種類、住宅、従業地・通学地などについての調査です。

推計人口・・・国勢調査の結果による人口及び世帯数を基礎として、これに住民基本台帳法及び外国人登録法による毎月の出生、死亡、転入、転出者数を加減して、毎月1日現在で推計している。

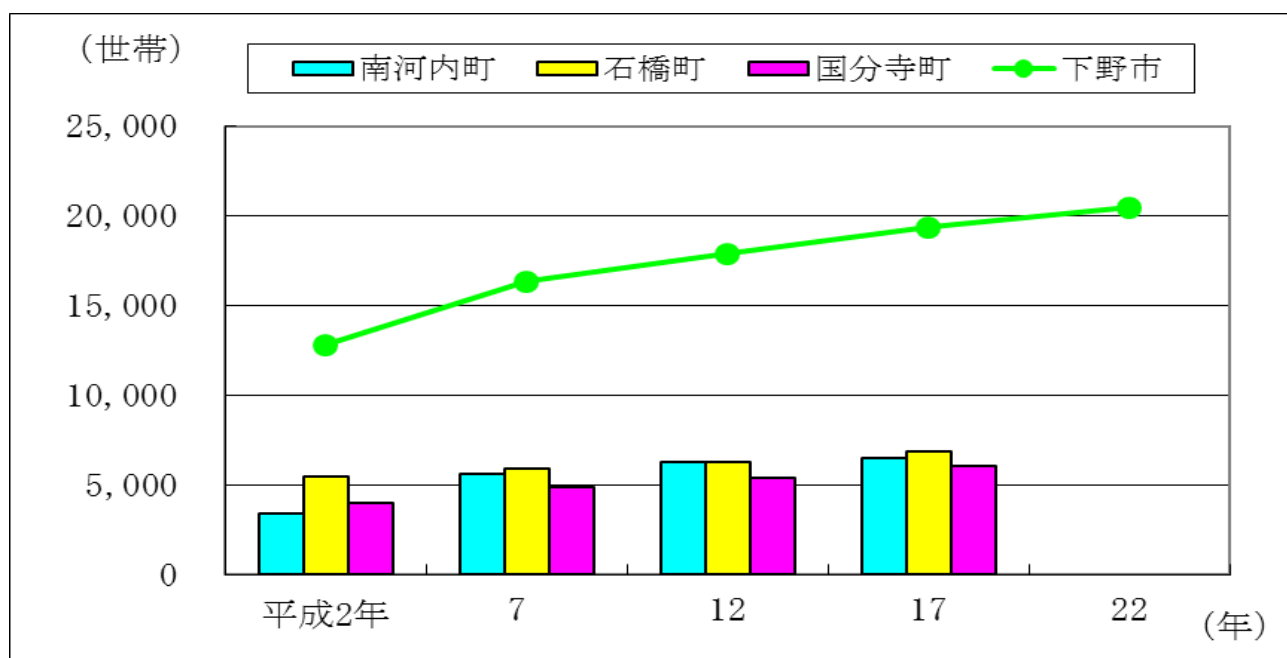
### (3) 世帯数

下野市の世帯数の推移をみると、平成2年（12,814世帯）から平成22年[20,492世帯（速報値）]までに7,678世帯増加している。

#### 世帯数の推移

単位：世帯

旧町別	平成2年	7	12	17	22
南河内町	3,364	5,629	6,261	6,481	—
石橋町	5,466	5,894	6,257	6,854	—
国分寺町	3,984	4,832	5,383	6,043	—
下野市	12,814	16,355	17,901	19,378	20,492 (速報値)



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

		世帯数					単位：世帯
	平成18年	19	20	21	22		
下野市	19,670	19,938	20,170	20,250	20,456		

資料：栃木県毎月推計人口調査（各年10月1日現在）

#### (4) 1世帯あたりの人数

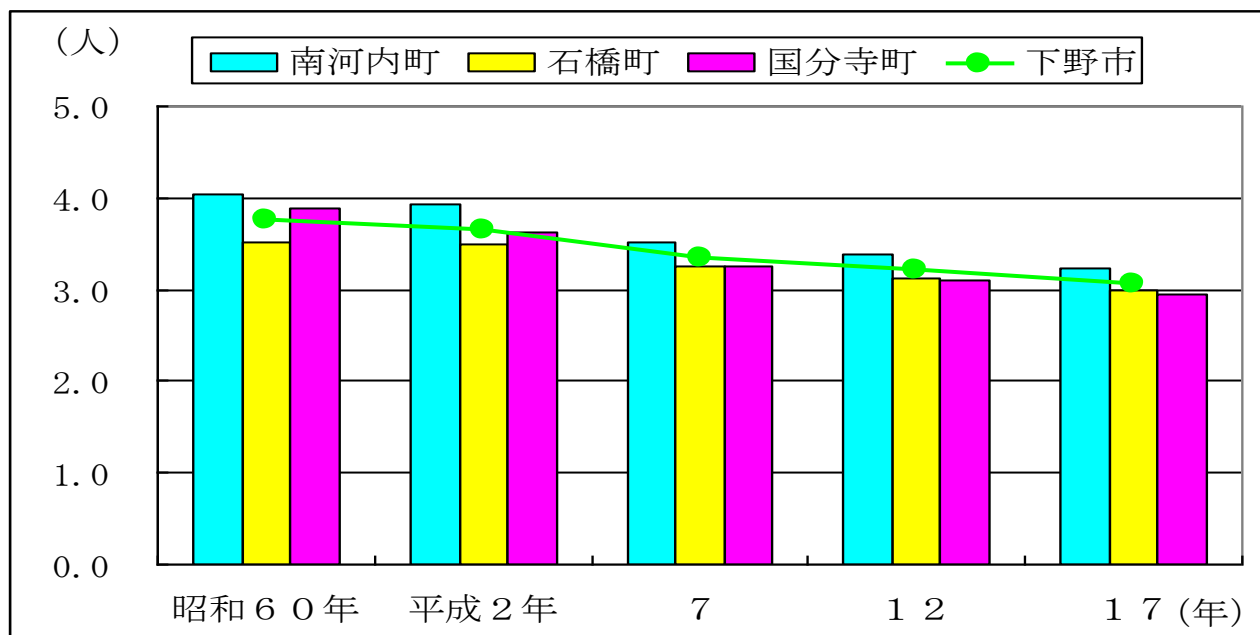
下野市の1世帯あたりの人数の推移をみると、昭和60年（3.8人）から平成17年（3.1人）までに0.7人減少している。

旧町別にみると、昭和60年から平成17年にかけて南河内町では0.8人減少、石橋町では0.5人減少、国分寺町では1.0人減少している。

#### 1世帯あたりの人数

単位：人／世帯

旧町別	昭和60年	平成2年	7	12	17
南河内町	4.0	3.9	3.5	3.4	3.2
石橋町	3.5	3.5	3.3	3.1	3.0
国分寺町	3.9	3.6	3.2	3.1	2.9
下野市	3.8	3.6	3.3	3.2	3.1



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

#### 参 考

#### 平成17年国勢調査1世帯あたりの人数

単位：人／世帯

宇都宮市	2.51	鹿沼市	3.04	今市市	3.01	さくら市	3.18
足利市	2.74	日光市	2.63	小山市	2.80	那須烏山市	3.22
栃木市	2.94	今市市	3.01	矢板市	2.97		
佐野市	2.82	小山市	2.80	那須塩原市	2.81		

10月1日現在

(5) 人口密度

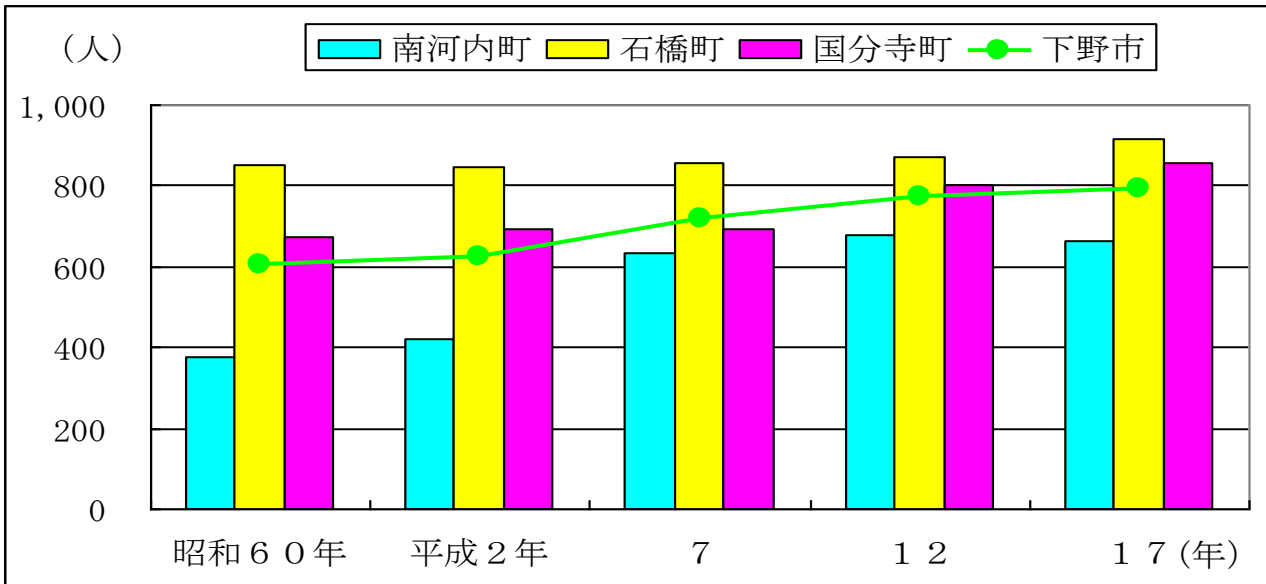
下野市の人口密度の推移をみると、昭和60年(602.2人/km<sup>2</sup>)から平成17年(792.9人/km<sup>2</sup>)までに190.7人/km<sup>2</sup>増加している。

旧町別にみると、昭和60年から平成17年にかけて南河内町では291.0人/km<sup>2</sup>増加、石橋町では61.1人/km<sup>2</sup>増加、国分寺町では179.1人/km<sup>2</sup>増加している。

人口密度

単位：人/km<sup>2</sup>

旧町別	昭和60年	平成2年	7	12	17
南河内町	374.8	421.8	633.0	677.4	665.8
石橋町	852.6	848.8	854.8	869.3	913.7
国分寺町	675.0	692.8	692.8	803.6	854.1
下野市	602.2	625.8	716.4	770.3	792.9



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

参 考

平成17年国勢調査 都市別人口密度

単位：人/km<sup>2</sup>

宇都宮市	1466.1	鹿沼市	300.1	真岡市	593.8	さくら市	329.9
足利市	898.4	日光市	51.0	大田原市	223.2	那須烏山市	178.6
栃木市	674.6	今市市	254.8	矢板市	209.1		
佐野市	348.0	小山市	933.2	那須塩原市	194.0		

10月1日現在

## (6) DID (人口集中地区)

### DID

単位 面積：km<sup>2</sup>、人口密度：人/km<sup>2</sup>

旧町別	人口	面積	人口密度
南河内町	10,363	1.28	8,096.1
石橋町	9,752	1.94	5,026.8
国分寺町	7,941	1.69	4,698.8
下野市	28,056	4.91	5,714.1

※ 3町の合計を下野市として作成

※ 現行のDIDは、平成17年国勢調査にて設定されたものです。



### 解説

#### DID(Densely Inhabited District : 人口集中地区) とは

1. 市区町村の境界内において人口密度の高い（約 4,000 人/km<sup>2</sup>以上の）国勢調査区を基礎単位として用い、
2. これらが隣接して5,000人以上を有していること。

上の1と2をどちらも満たしている市街地がDIDとなります。

このDIDの人口と面積は、国勢調査で得られた結果を用いて算出しています。